

2020年2月期

決算説明資料

2020年4月20日



株式会社竹内製作所

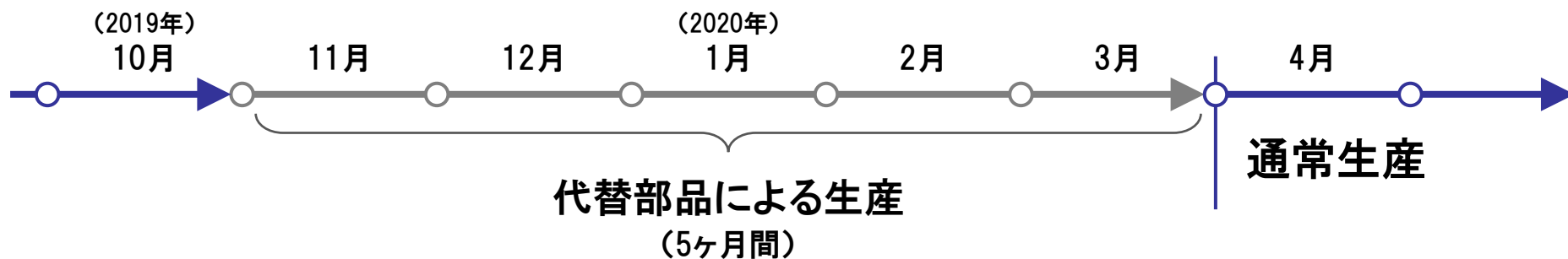
(証券コード:6432)

- ▶ **2020年2月期・連結業績 実績**
- ▶ 2021年2月期・連結業績 予想
- ▶ 第二次中期経営計画の進捗状況
- ▶ ご参考資料

台風19号による当社への影響について

- ▶ 2020年3月をもって代替生産を終了
- ▶ **対策コスト 1.7億円** を2020年2月期に計上（2021年2月期業績への影響は軽微）

	状 況
10月	<ul style="list-style-type: none"> • 10月12日(土) 台風19号が上陸 • 当社サプライヤーが浸水被災し、同サプライヤーからの部品供給が途絶 • 生産調整(減産)のうえ、10月は在庫されていた部品で通常生産を継続
11月	代替部品による生産へと暫定的に切り替え
12月	(12月中ごろから、被災サプライヤーから供給再開)
1月	(供給数量は次第に回復)
2月	
3月	代替部品による生産を終了 (供給数量は完全に回復)
4月	通常生産



(1) 販売台数は米国で微増、欧州で増加 (対前期比)

- 北米の販売台数は **1.0%増加** (上期:10.4%減少、下期:17.4%増加、対前期比)
 - 天候不良の影響で先延ばしにされた分を下期で盛り返し
 - 買入部品の調達制限の影響により、米国向けの製品出荷を制限
- 欧州の販売台数は **8.7%増加** (上期:14.4%増加、下期:2.6%増加、対前期比)
 - 2018年3月発売のミニショベル(TB225/2.3トン)が引き続き販売好調
 - 2019年2月発売のミニショベル(TB235-2/3.5トン、TB250-2/5.0トン)も販売好調
 - 国別では、イギリスが低調なもの、フランス、ドイツ、オーストリア、オランダが販売好調
- トータル販売台数は **3.2%増加** (上期:0.5%増加、下期:6.5%増加、対前期比)

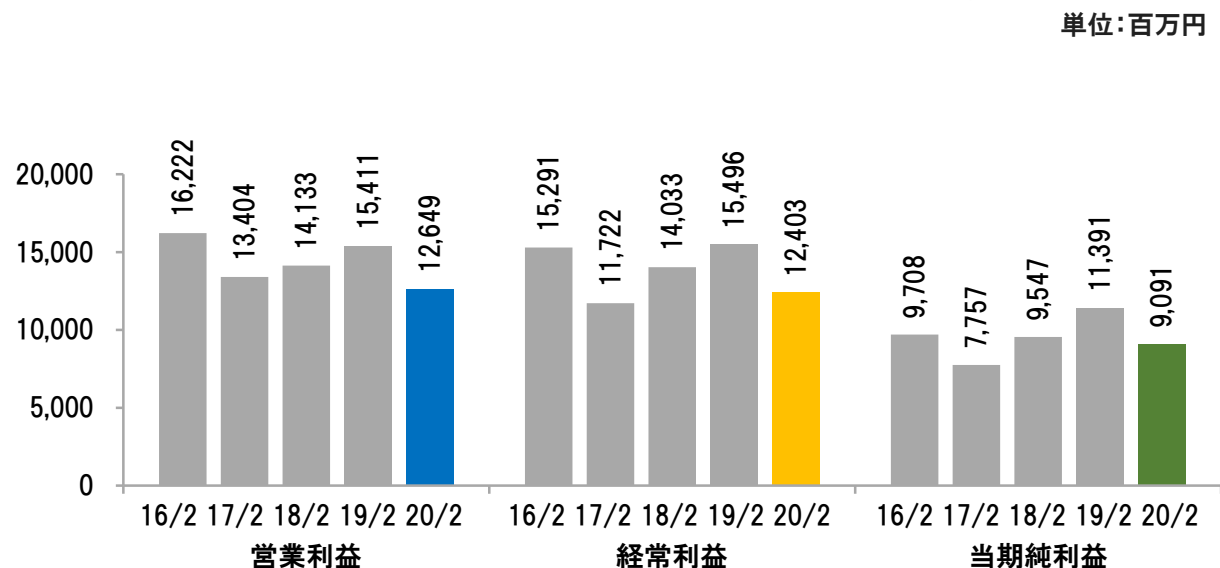
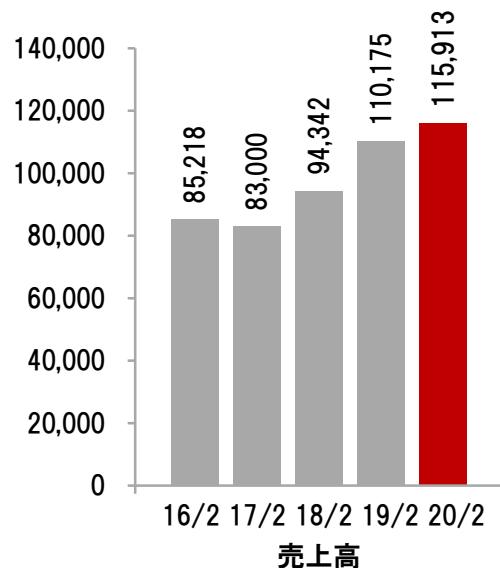
(2) 売上高は5.2%増加したが、営業利益は17.9%減少 (連結、対前期比)

【主な要因】

- 拡販に向けた政策的な販売価格を設定
- 変動費(主に原材料費)、固定費(労務費、減価償却費など)ともに製造原価が増加
- 販管費(運搬費、人件費など)増加のほか、貸倒引当金戻入れ益減少
- 台風19号関連の対策コストの発生

連結業績ハイライト (2020年2月期・実績)

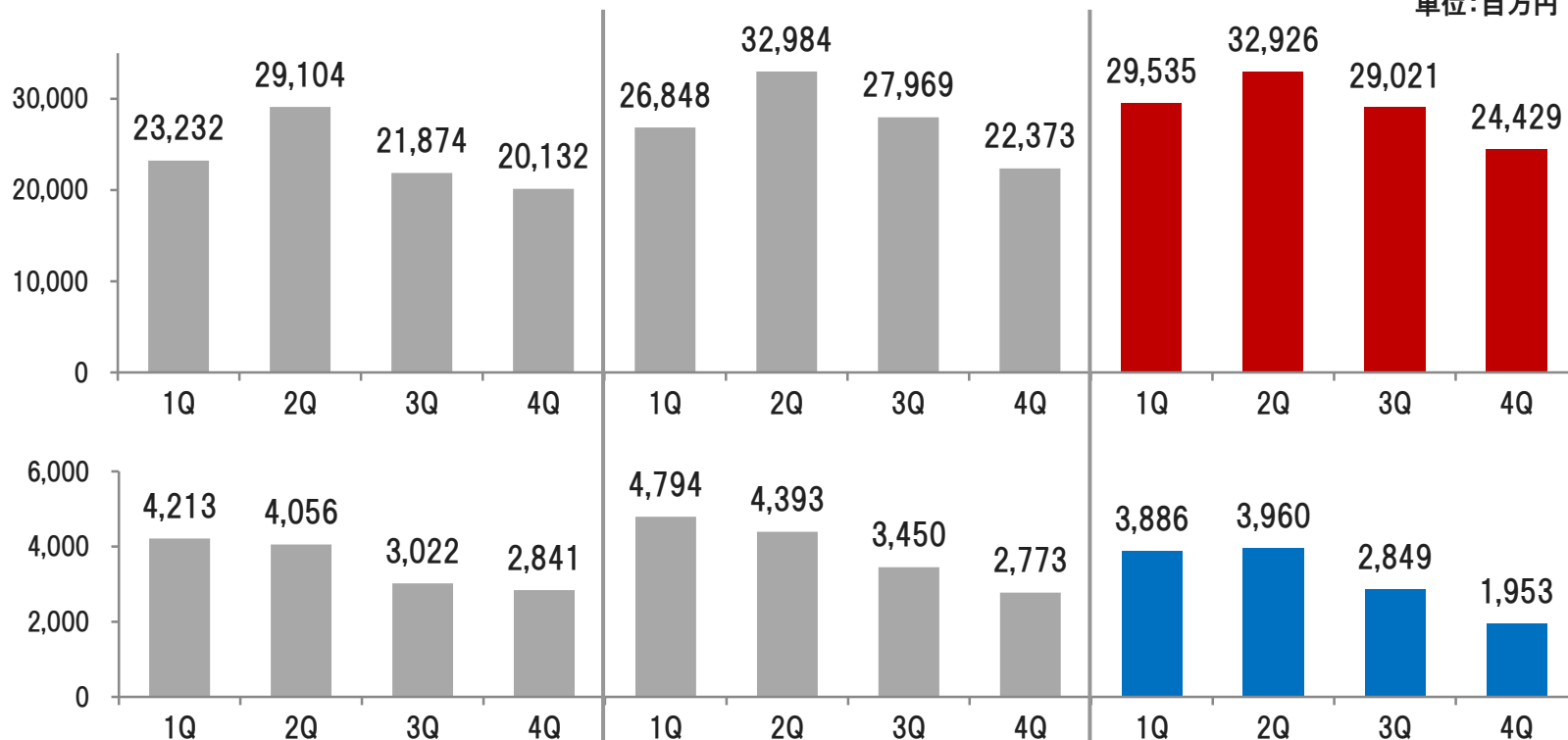
単位:百万円	2019年2月期		2020年2月期					
	通期	売上比率	上期	下期	通期	売上比率	増減額	増減率
■ 売上高	110,175	—	62,461	53,452	115,913	—	+5,737	+5.2%
■ 営業利益	15,411	14.0%	7,847	4,802	12,649	10.9%	△2,761	△17.9%
■ 経常利益	15,496	14.1%	7,510	4,893	12,403	10.7%	△3,093	△20.0%
■ 当期純利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	11,391	10.3%	5,483	3,608	9,091	7.8%	△2,299	△20.2%
設備投資額	2,225	2.0%	1,674	1,382	3,056	2.6%	+830	+37.3%
減価償却費	1,280	1.2%	666	863	1,529	1.3%	+248	+19.4%
受注高	117,941	—	60,187	56,969	117,156	—	△785	△0.7%
受注残高	30,290	—	28,015	31,533	31,533	—	+1,243	+4.1%



四半期毎の売上高・営業利益

単位:百万円

売上高

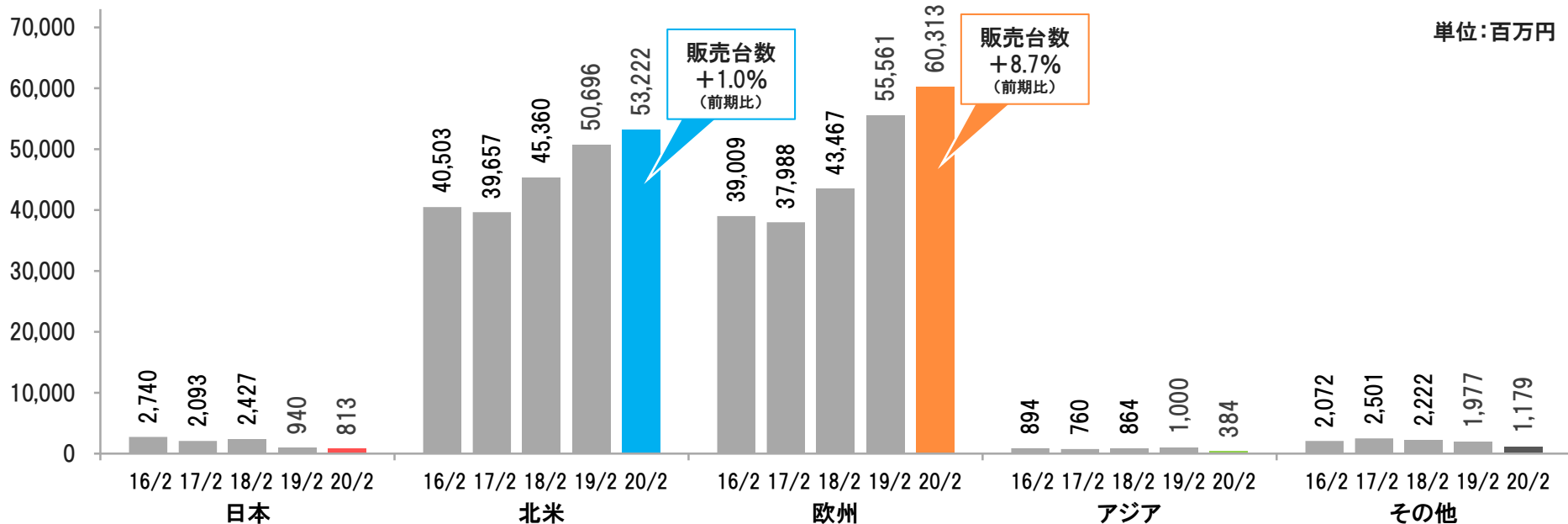


営業利益

	2018年2月期				2019年2月期				2020年2月期			
為替レート	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
円/米ドル	111.90	111.14	112.17	111.24	107.57	109.91	112.68	111.38	111.19	108.58	107.80	109.36
円/英ポンド	141.15	144.43	148.74	151.95	149.90	144.87	145.77	143.48	145.48	135.73	133.02	142.52
円/ユーロ	119.88	127.31	132.20	133.97	131.30	128.07	130.50	127.71	124.85	122.04	118.80	121.14
円/人民元	16.42	16.29	16.69	17.09	17.03	16.97	16.29	16.25	16.43	16.00	15.26	15.57

地域別売上高 (2020年2月期・実績)

単位:百万円	2019年2月期		2020年2月期					
	通期	構成比	上期	下期	通期	構成比	増減額	増減率
■ 日本	940	0.9%	338	475	813	0.7%	△126	△13.5%
■ 北米	50,696	46.0%	27,612	25,610	53,222	45.9%	+2,526	+5.0%
■ 欧州	55,561	50.4%	33,601	26,712	60,313	52.0%	+4,752	+8.6%
■ アジア	1,000	0.9%	249	135	384	0.3%	△615	△61.6%
■ その他	1,977	1.8%	659	520	1,179	1.0%	△798	△40.4%
売上高合計	110,175	100.0%	62,461	53,452	115,913	100.0%	+5,737	+5.2%
海外売上高	109,235	99.1%	62,123	52,977	115,100	99.3%	+5,864	+5.4%

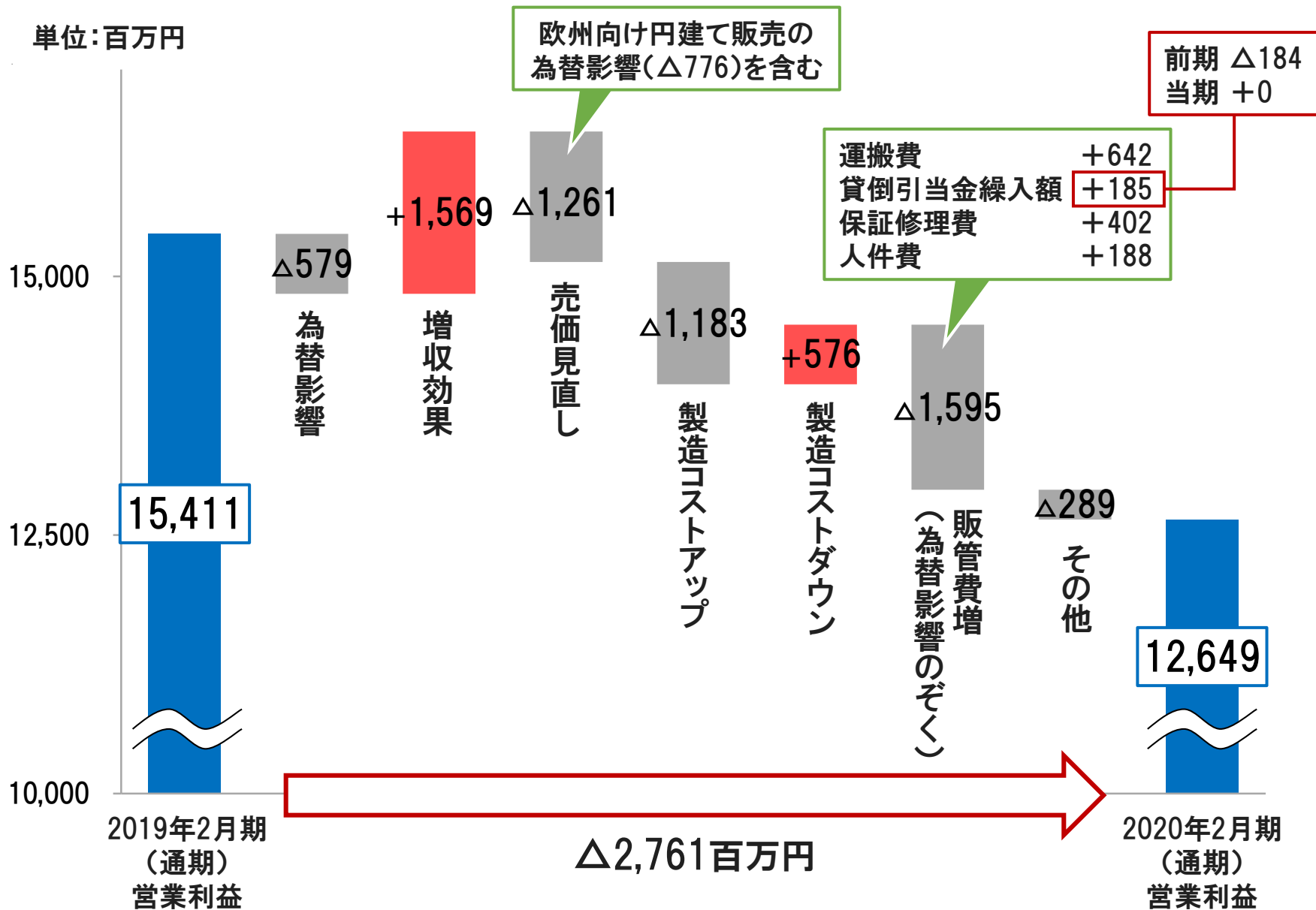


所在地別セグメント情報 (2020年2月期・実績)

単位:百万円	2019年2月期		2020年2月期					
	通期	利益率	上期	下期	通期	利益率	増減額	増減率
日本売上高	40,147	—	23,969	21,722	45,741	—	+5,594	+13.9%
セグメント利益	11,650	29.0%	5,243	4,620	9,863	21.6%	△1,786	△15.3%
米国売上高	50,700	—	27,613	25,610	53,223	—	+2,522	+5.0%
セグメント利益	2,731	5.4%	1,710	1,859	3,569	6.7%	+837	+30.7%
英国売上高	12,192	—	7,102	3,072	10,174	—	△2,017	△16.5%
セグメント利益	603	4.9%	424	127	551	5.4%	△52	△8.6%
フランス売上高	6,614	—	3,614	2,933	6,547	—	△66	△1.0%
セグメント利益	237	3.6%	137	189	326	5.0%	+89	+37.8%
中国売上高	521	—	161	65	226	—	△295	△56.5%
セグメント利益	422	81.0%	21	25	46	20.6%	△376	△89.0%

- 日本セグメント (竹内製作所)
 - ・ 建設機械の開発、製造
 - ・ 日本国内での建設機械の販売 / 欧州及びアジア・オセアニア地域のディストリビューターへの建設機械の販売
 - ・ 攪拌機の開発、製造、販売 (2018年6月1日付をもって攪拌機事業を譲渡、2019年2月期は1Qのみ業績貢献)
- 米国セグメント (TAKEUCHI MFG.(U.S.),LTD.)
 - ・ 米国及びカナダでの建設機械の販売
- 英国セグメント (TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD.)
 - ・ 英国での建設機械の販売
- フランスセグメント (TAKEUCHI FRANCE S.A.S.)
 - ・ フランスでの建設機械の販売
- 中国セグメント (竹内工程機械(青島)有限公司)
 - ・ 中国での建設機械の販売
 - ・ 中国及びアジア向けの建設機械の製造
 - ・ 日本セグメント向けの建設機械の製缶品(部材)の製造、調達及び販売

営業利益増減要因 (2020年2月期・実績)



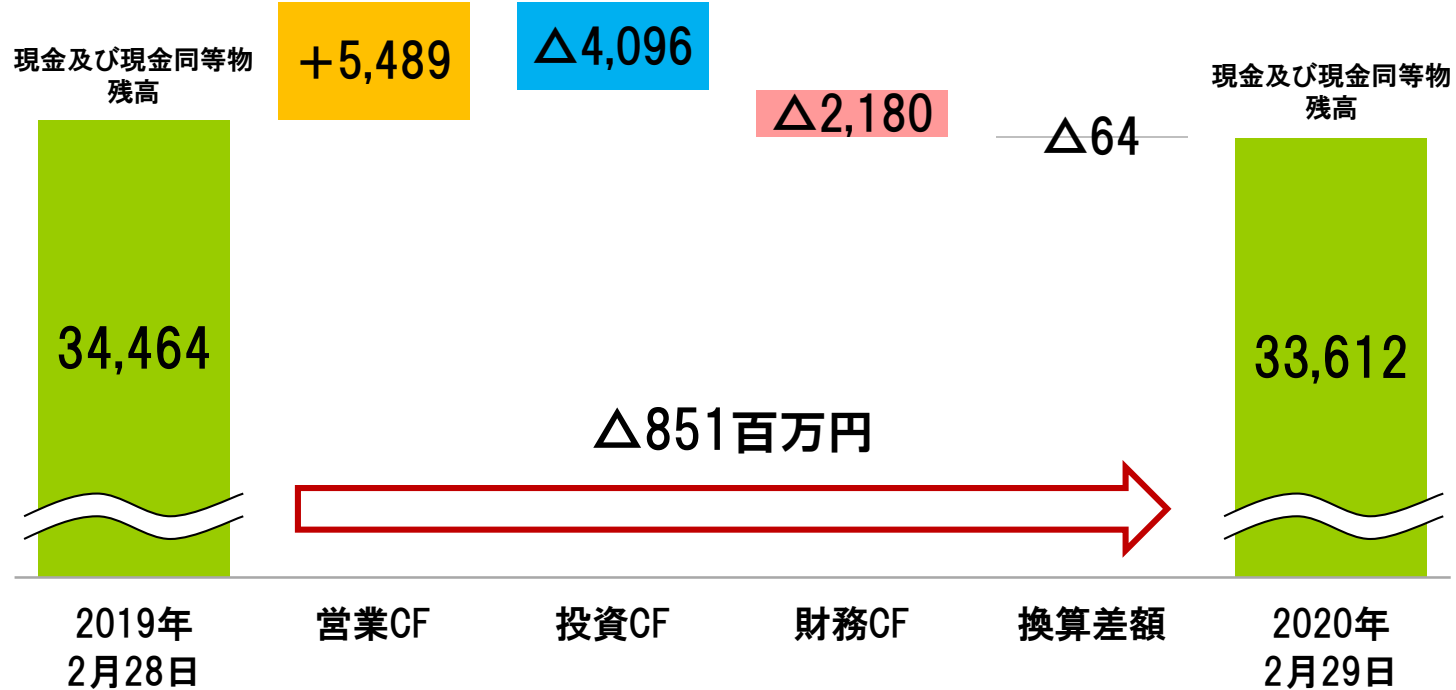
連結貸借対照表 (2020年2月29日現在)

単位:百万円

		2019年2月28日		2020年2月29日			
		残高	構成比	残高	構成比	増減額	増減率
資産 の部	現金及び預金	35,072	33.9%	34,220	31.4%	△851	△2.4%
	受取手形及び売掛金	23,156	22.4%	25,365	23.3%	+2,208	+9.5%
	たな卸資産	30,140	29.1%	30,543	28.0%	+402	+1.3%
	その他流動資産	1,310	1.3%	2,253	2.1%	+943	+71.9%
	流動資産	89,680	86.6%	92,383	84.8%	+2,702	+3.0%
	固定資産	13,876	13.4%	16,599	15.2%	+2,722	+19.6%
合計		103,557	100.0%	108,982	100.0%	+5,425	+5.2%
負債 ・ 純 資産 の部	支払手形及び買掛金	20,561	19.9%	19,848	18.2%	△712	△3.5%
	その他流動負債	5,257	5.1%	4,990	4.6%	△266	△5.1%
	流動負債	25,818	24.9%	24,838	22.8%	△979	△3.8%
	固定負債	558	0.5%	459	0.4%	△98	△17.7%
	負債合計	26,376	25.5%	25,298	23.2%	△1,078	△4.1%
	純資産合計	77,180	74.5%	83,683	76.8%	+6,503	+8.4%
合計		103,557	100.0%	108,982	100.0%	+5,425	+5.2%

連結キャッシュ・フロー計算書 (2020年2月期・実績) **TAKEUCHI** From World First to World Leader

単位:百万円

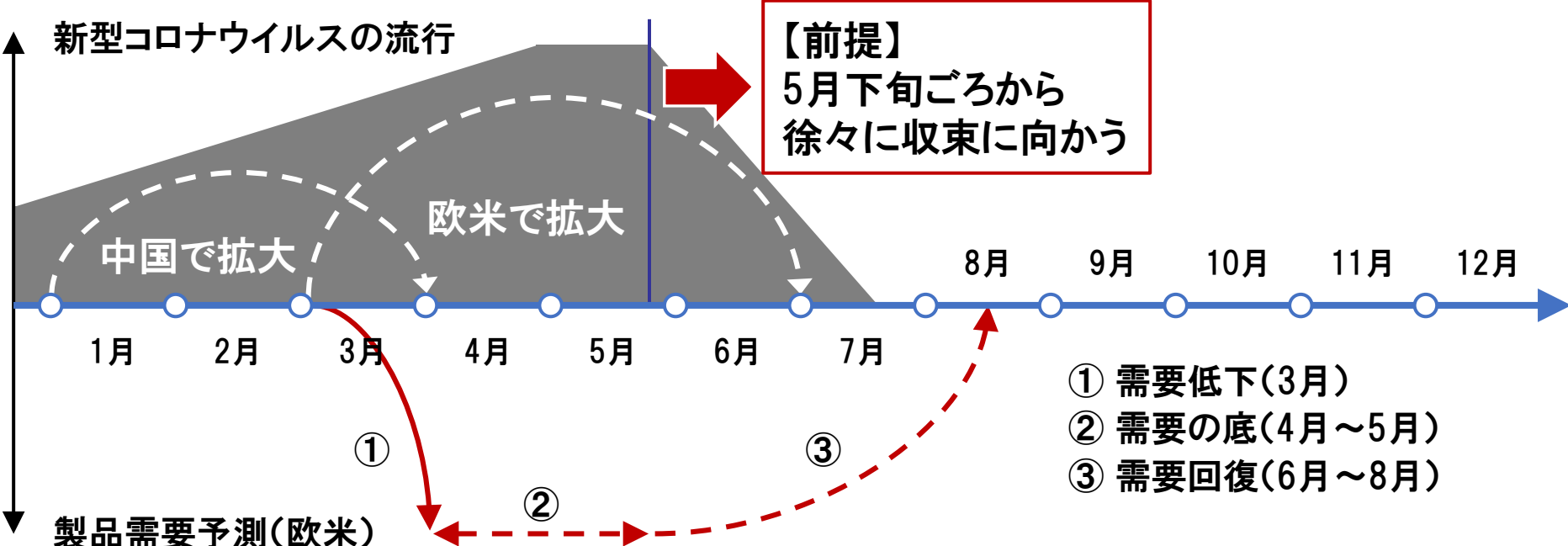


単位:百万円

営業キャッシュ・フロー		投資キャッシュ・フロー		財務キャッシュ・フロー	
	増減額		増減額		増減額
税金等調整前当期純利益	12,403	有形固定資産の取得	$\Delta 2,965$	配当金の支払	$\Delta 2,154$
減価償却費	1,529	無形固定資産の取得	$\Delta 265$		
たな卸資産の増加	$\Delta 492$	投資有価証券の取得	$\Delta 900$		
運転資金の増加	$\Delta 2,964$				
法人税等の支払	$\Delta 4,577$				
その他	$\Delta 410$	その他	34	その他	$\Delta 26$
合計	5,489	合計	$\Delta 4,096$	合計	$\Delta 2,180$

- ▶ 2020年2月期・連結業績 実績
- ▶ **2021年2月期・連結業績 予想**
- ▶ 第二次中期経営計画の進捗状況
- ▶ ご参考資料

2021年2月期 連結業績予想の前提



連結期間	影響 A+B	子会社(米英仏中)	影響 A	ディストリビューター	影響 B
1Q (3～5月)	小	1月～3月を連結 (3月から需要低下)	小	3月～5月は現地需要の最悪期だが、12月～2月の受注に基づく出荷&売上なので連結業績への影響は軽微 (ディストリビューター各社に在庫が貯まる)	—
2Q (6～8月)	大	4月～6月を連結 (需要の底)	大	6月～8月がディストリビューター向け販売の底 (需要は徐々に回復するも、現地在庫が出荷される)	大
3Q (9～11月)	中	7月～9月を連結 (需要回復)	中	ディストリビューターの在庫過多は10月ごろまで続く (当社からディストリビューターへの販売は停滞が続く)	中
4Q (12～2月)	—	10月～12月を連結 (例年の水準に戻る)	—	例年の水準に戻る	—

(1) 販売台数の見通し … コロナ禍により、大幅な減少を見込まざるを得ない

- 北米の販売台数は **19%減少** の予想(上期:25%減少、下期:12%減少、対前年同期比)
- 欧州の販売台数は **24%減少** の予想(上期:34%減少、下期:12%減少、対前年同期比)
- トータル販売台数は **20%減少** の予想(上期:29%減少、下期:10%減少、対前年同期比)

(2) 利益見通し … 以下を主因として、**減収・減益** を予想

- 売上高の減少
- 為替影響(前提レートを円高に設定)
- 製造原価の増加(変動費・固定費ともに)

- 値上げ
- 販管費の減少を見込むものの…

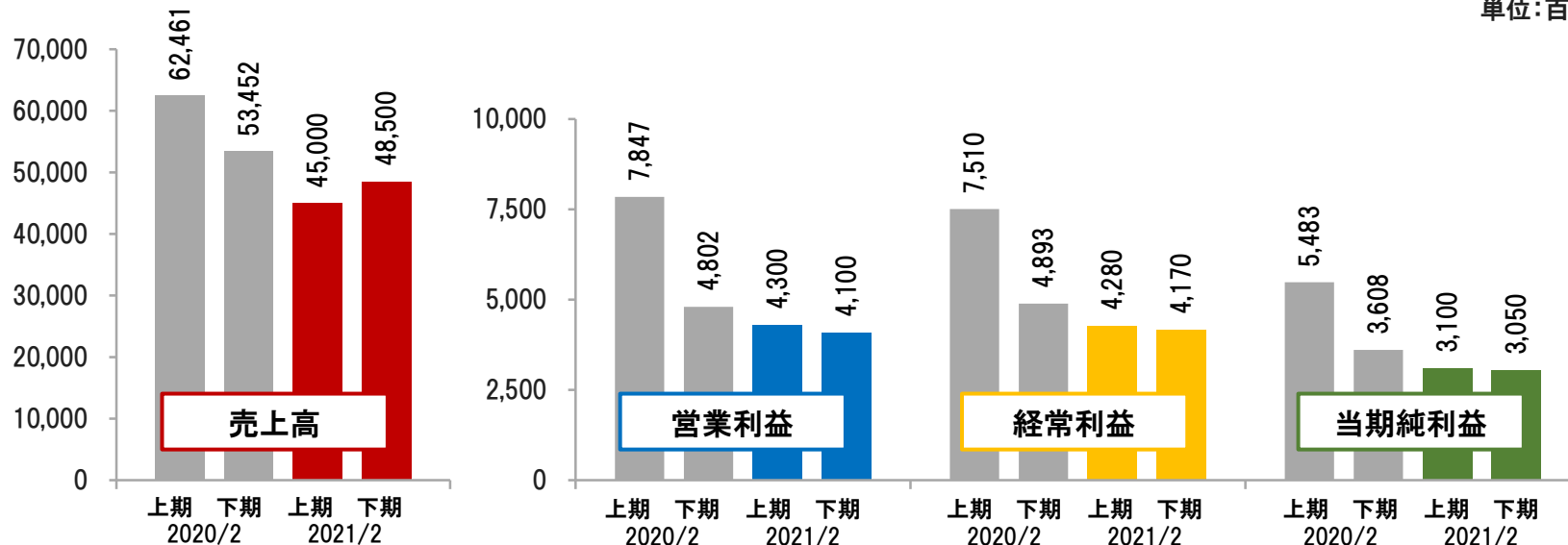
【ご参考】需要動向(コロナ禍考慮なし) **北米で増加、欧州(特に英国)で減少**

- 米国 販売台数は増加を予想
米中貿易摩擦の緩和による企業の投資回復、個人消費と住宅市場の拡大
- 欧州 販売台数は減少を予想
EU離脱後の通商交渉が難航するとみられる英国はもとより、その他の欧州各国もマクロ経済の減速感が強まっている

連結業績予想ハイライト (2021年2月期・予想)

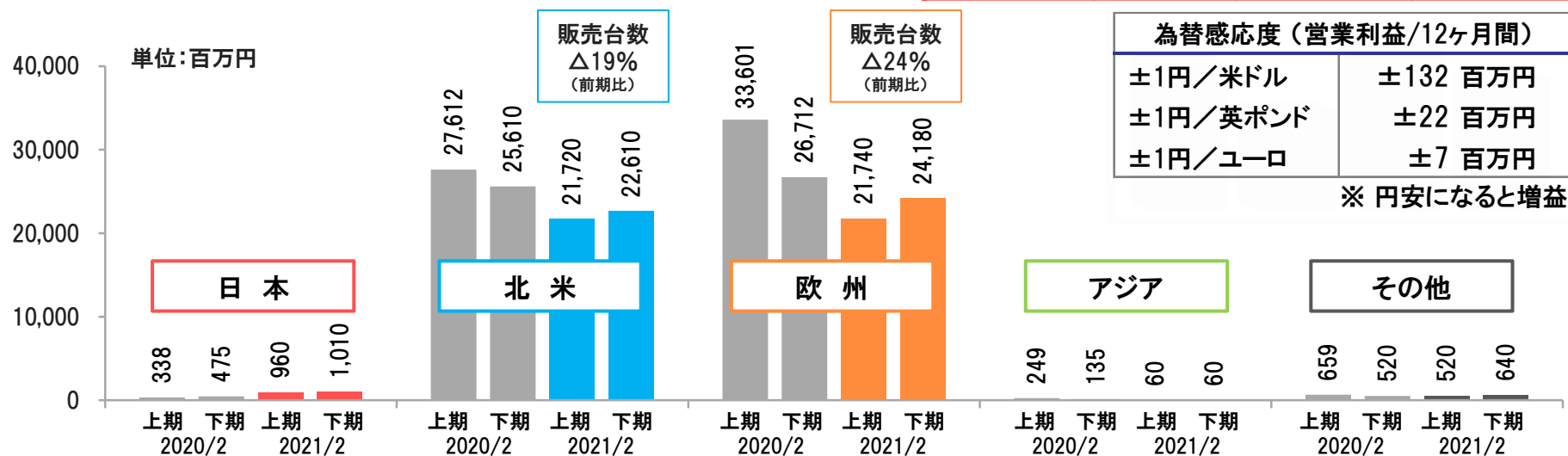
単位:百万円	2020年2月期		2021年2月期(予想)					
	通期	売上比率	上期	下期	通期	売上比率	増減額	増減率
■ 売上高	115,913	—	45,000	48,500	93,500	—	△22,413	△19.3%
■ 営業利益	12,649	10.9%	4,300	4,100	8,400	9.0%	△4,249	△33.6%
■ 経常利益	12,403	10.7%	4,280	4,170	8,450	9.0%	△3,953	△31.9%
■ 当期純利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	9,091	7.8%	3,100	3,050	6,150	6.6%	△2,941	△32.4%
設備投資額	3,056	2.6%	1,505	796	2,302	2.5%	△753	△24.7%
減価償却費	1,529	1.3%	844	1,043	1,887	2.0%	+358	+23.4%
1株純利益	190.64円	配当性向 26.2%	65.01円	63.96円	128.97円		△61.67円	△32.4%
1株配当金	50.00円		—	—	未定	—	—	—

単位:百万円

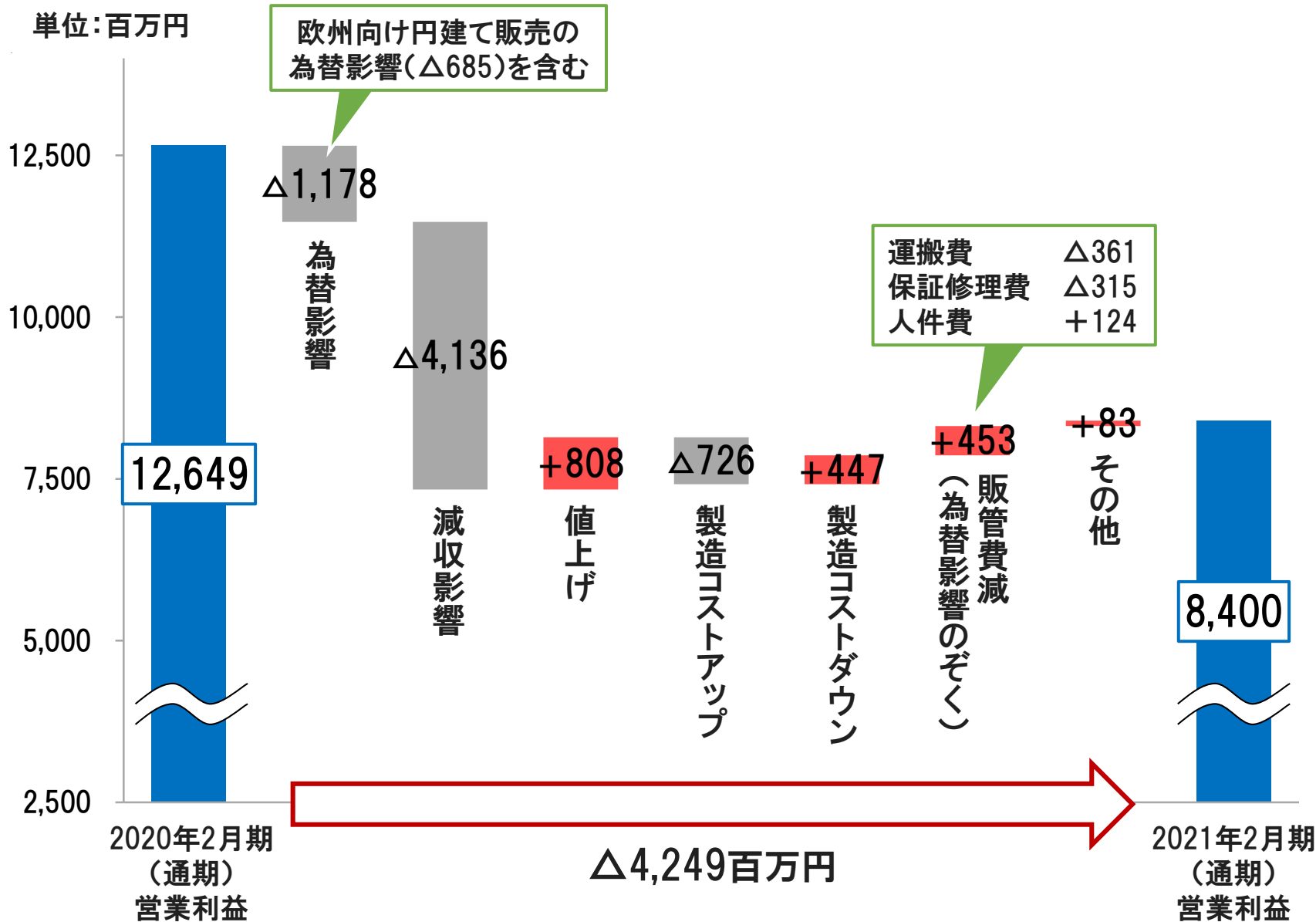


地域別売上高予想 (2021年2月期・予想)

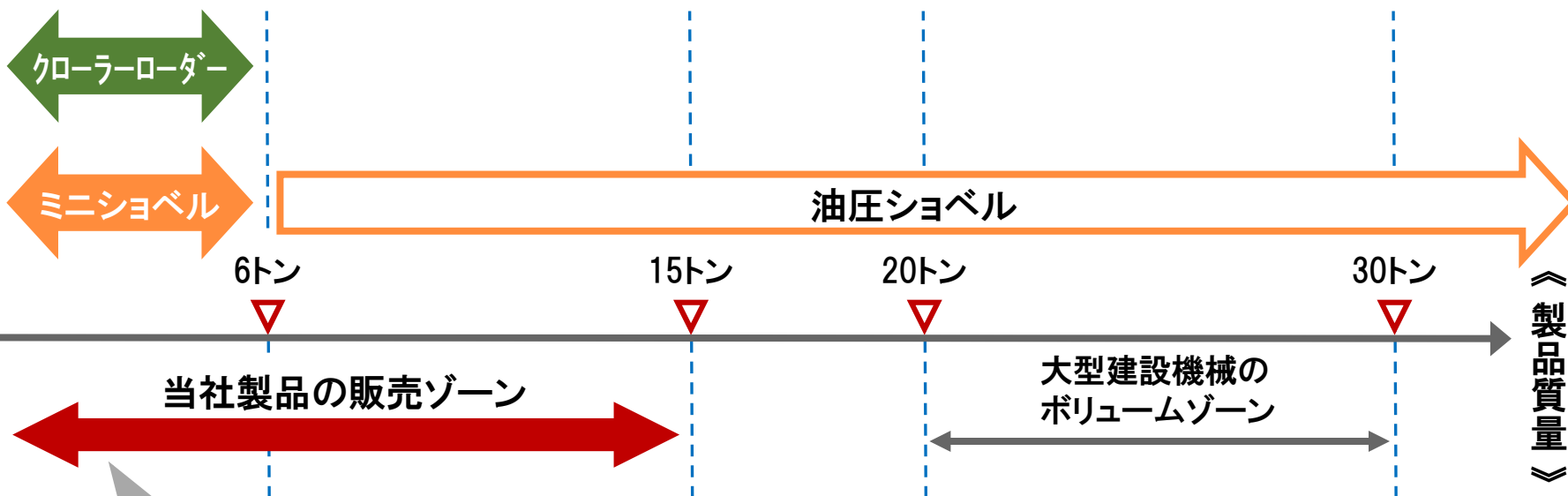
単位:百万円	2020年2月期		2021年2月期(予想)						
	通期	構成比	上期	下期	通期	構成比	増減額	増減率	
日本	813	0.7%	960	1,010	1,970	2.1%	+1,156	+142.2%	
北米	53,222	45.9%	21,720	22,610	44,330	47.4%	△8,892	△16.7%	
欧州	60,313	52.0%	21,740	24,180	45,920	49.1%	△14,393	△23.9%	
アジア	384	0.3%	60	60	120	0.1%	△264	△68.8%	
その他	1,179	1.0%	520	640	1,160	1.2%	△19	△1.6%	
売上高合計	115,913	100.0%	45,000	48,500	93,500	100.0%	△22,413	△19.3%	
円/米ドル	109.21円	—	108.00円	108.00円	108.00円	—	△1.21円	△1.1%	
円/英ポンド	139.49円	—	128.00円	128.00円	128.00円	—	△11.49円	△8.2%	
円/ユーロ	121.46円	—	118.00円	118.00円	118.00円	—	△3.46円	△2.8%	
円/人民元	15.82円	—	15.50円	15.50円	15.50円	—	△0.32円	△2.0%	



営業利益増減要因 (2021年2月期・予想)



- ▶ 2020年2月期・連結業績 実績
- ▶ 2021年2月期・連結業績 予想
- ▶ **第二次中期経営計画の進捗状況**
- ▶ ご参考資料



当社製品の代表的な用途

都市型・小規模 土木工事(主に居住区域)

- ✓ 住宅関連 (基礎工事)
- ✓ 交通インフラ (生活道路)
- ✓ ライフライン (水道、下水道、ガス、電気)
- ✓ 建設投資 (工場、商業施設、ホテル)
- ✓ 都市緑化 (造園、植樹、ガーデニング)
- ✓ 災害復旧 (地震、台風、ハリケーン、山火事)
- ✓ その他 (農林業、解体、粉砕)

暮らしを
支える

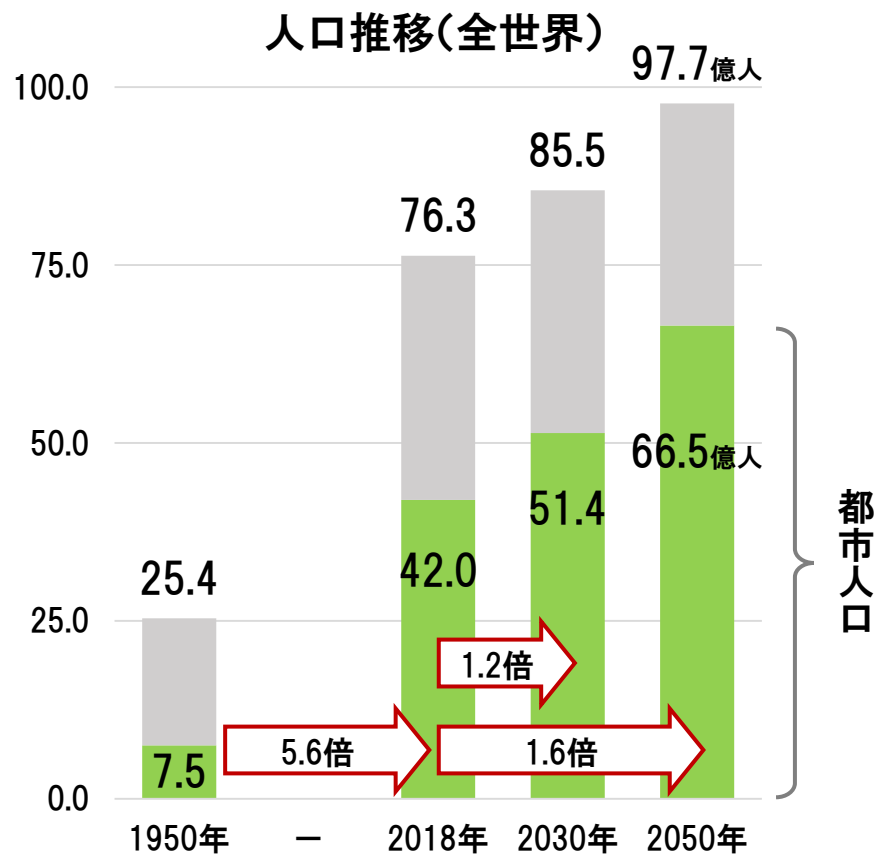
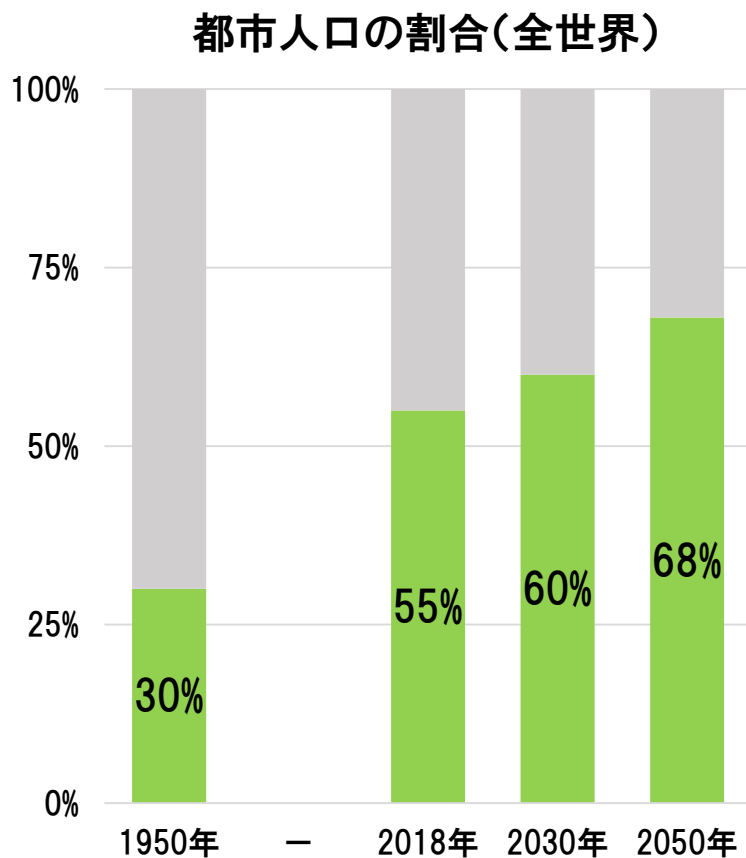
【竹内製品の強み】



【独自の付加価値で竹内ファンを創造・拡大】

- 全世界的に都市化が進んでおり、今後も衰える気配はない
- 都市、インフラは必ず老朽化し、メンテナンス工事が不可欠

出所: 2018 Revision of World Urbanization Prospects
(国際連合・経済社会局、2018/5/16)



当社製品の活用事例 (暮らしを支える建設工事で活躍)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

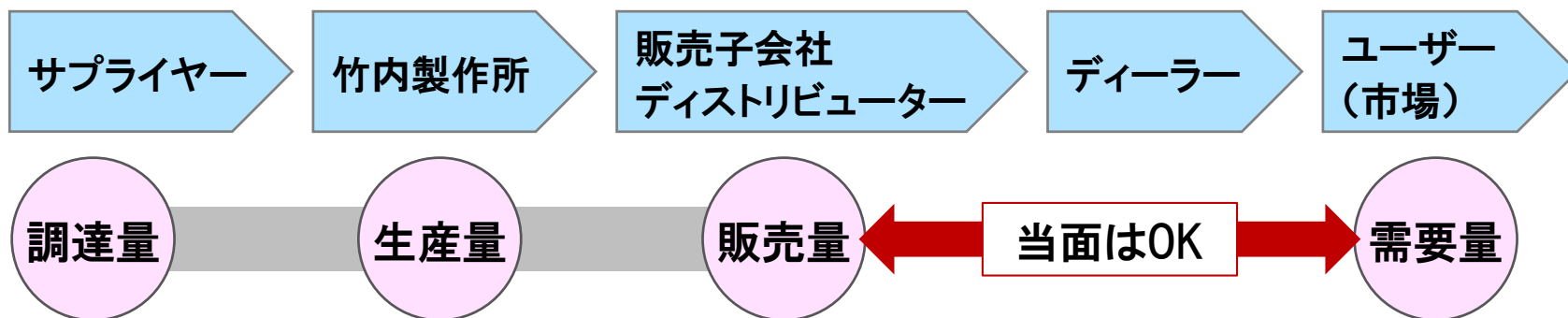
2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

11 住み続けられる
まちづくりを

当社グループの事業領域そのもの

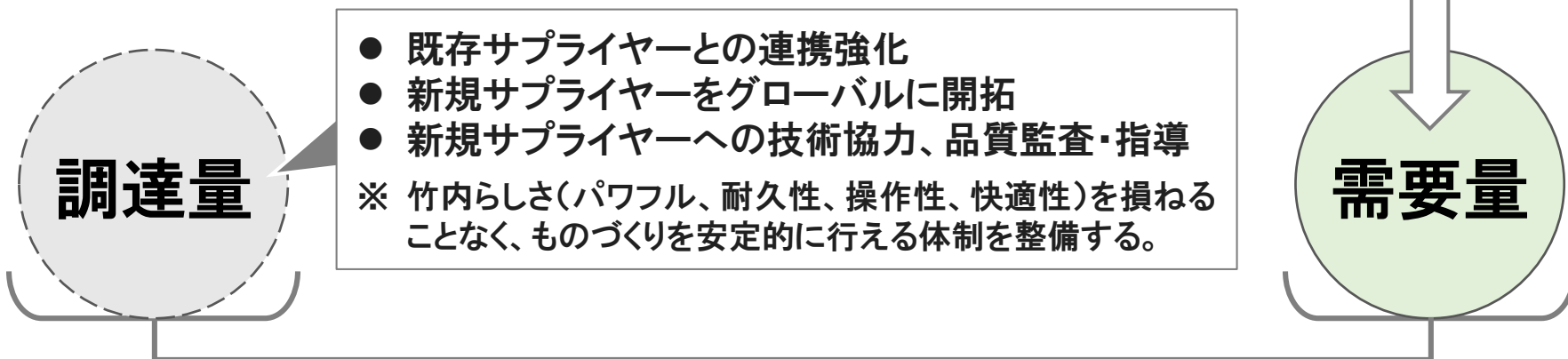
- ▶ 2020年2月期の調達問題(調達が需要に追い付かない)は解決済み。

当面の部品調達に目処 が立った。



- ▶ 需要は拡大し、生産台数は今後も継続的に増加すると見込む。

現在の **調達規模では不十分、増強が必要**



販売ネットワークの強化 (Takeuchi US 倉庫拡張)

- ▶ 完成 2020年1月
- ▶ 建築面積 約12万平方フィート (約11,150平方メートル、約3,400坪)
- ▶ 投資額 概算500万USD (5億4,000万円、1USD=108円)



- 保守パーツの在庫を拡充(量、ラインナップ)し、リードタイムを短縮
- 製品本体を拡販していくためにも、倉庫拡大は不可欠 (増設部には本体在庫も収容)

販売ネットワークの強化 (Takeuchi US トレーニングセンター)

- ▶ 完成予定 2020年 夏ごろ
- ▶ 土地面積 約9.2エーカー (約37,200平方メートル、約11,250坪)
- ▶ 建築面積 約3.5万平方フィート (約3,250平方メートル、約980坪)
- ▶ 投資額 概算420万USD (4億5,360万円、1USD=108円)



2020年4月撮影

- ディーラートレーニング (販売・保守)を強化
- より素早く、より精度の高い保守サービスを提供

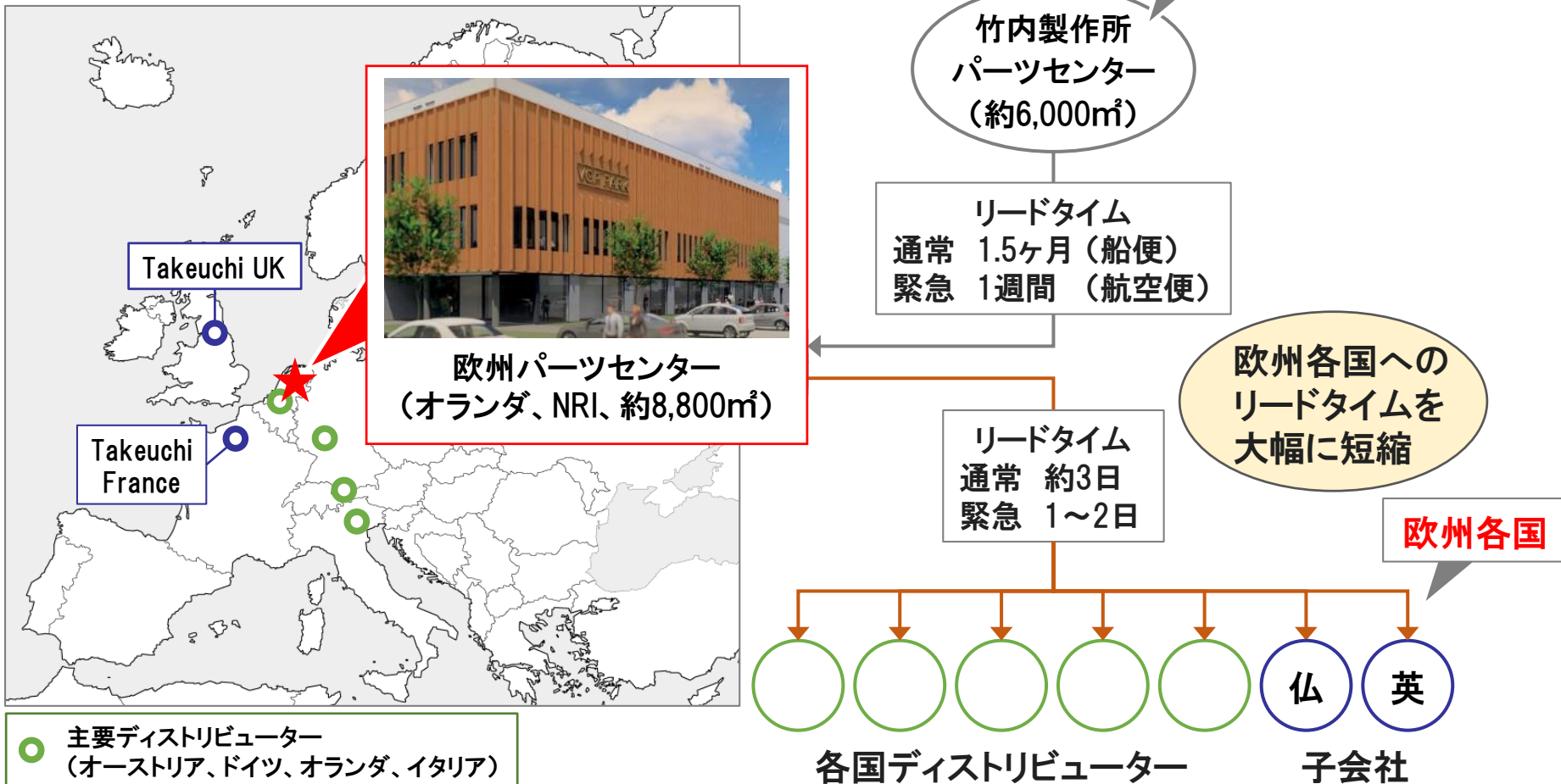


- ▶ 2020年3月10日(火)～13日(金)、ラスベガス ▶ 開催期間を通して、連日の大盛況
(初日は前回2017より多数の来場者)



販売ネットワークの強化 (欧州パーツセンター)

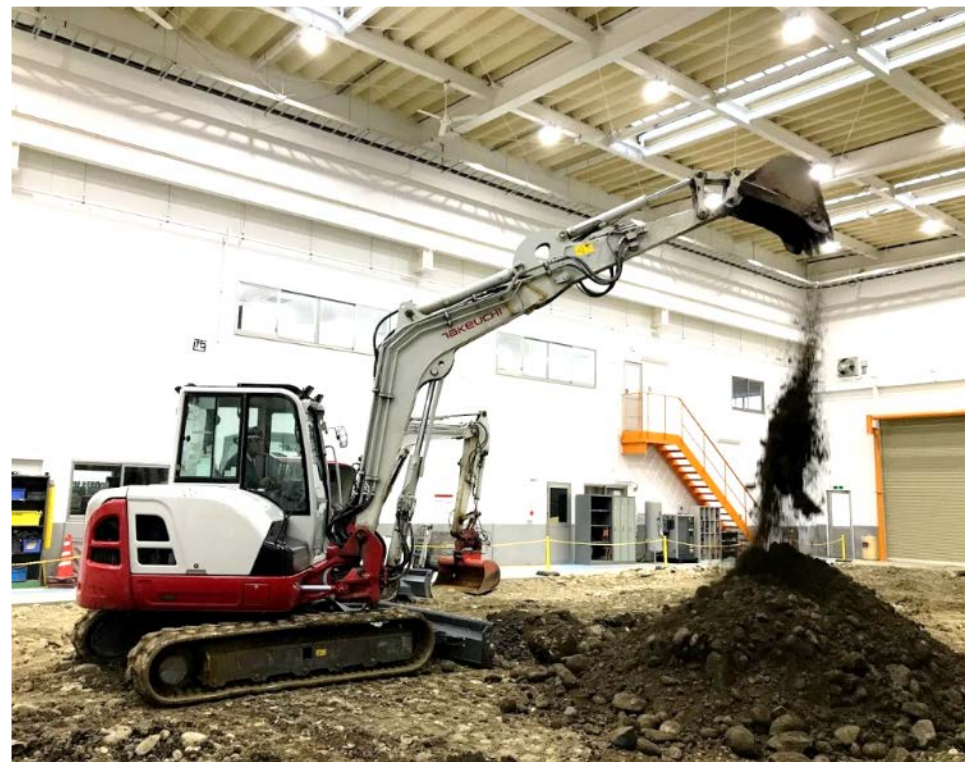
- ▶ 開設予定 2021年1月 (貸倉庫)
- ▶ 所在地 オランダ王国ヘルダーラント州ネイヘーメン (ドイツ国境近く)
- ▶ 倉庫面積 約8,800平方メートル (約2,650坪)
- ▶ 運営形態 非居住者在庫(NRI)、入出庫業務を外部委託



- ▶ 当社製品が満たすべき基準(強み・らしさ)の維持・向上
- ▶ 環境にやさしい製品開発の推進

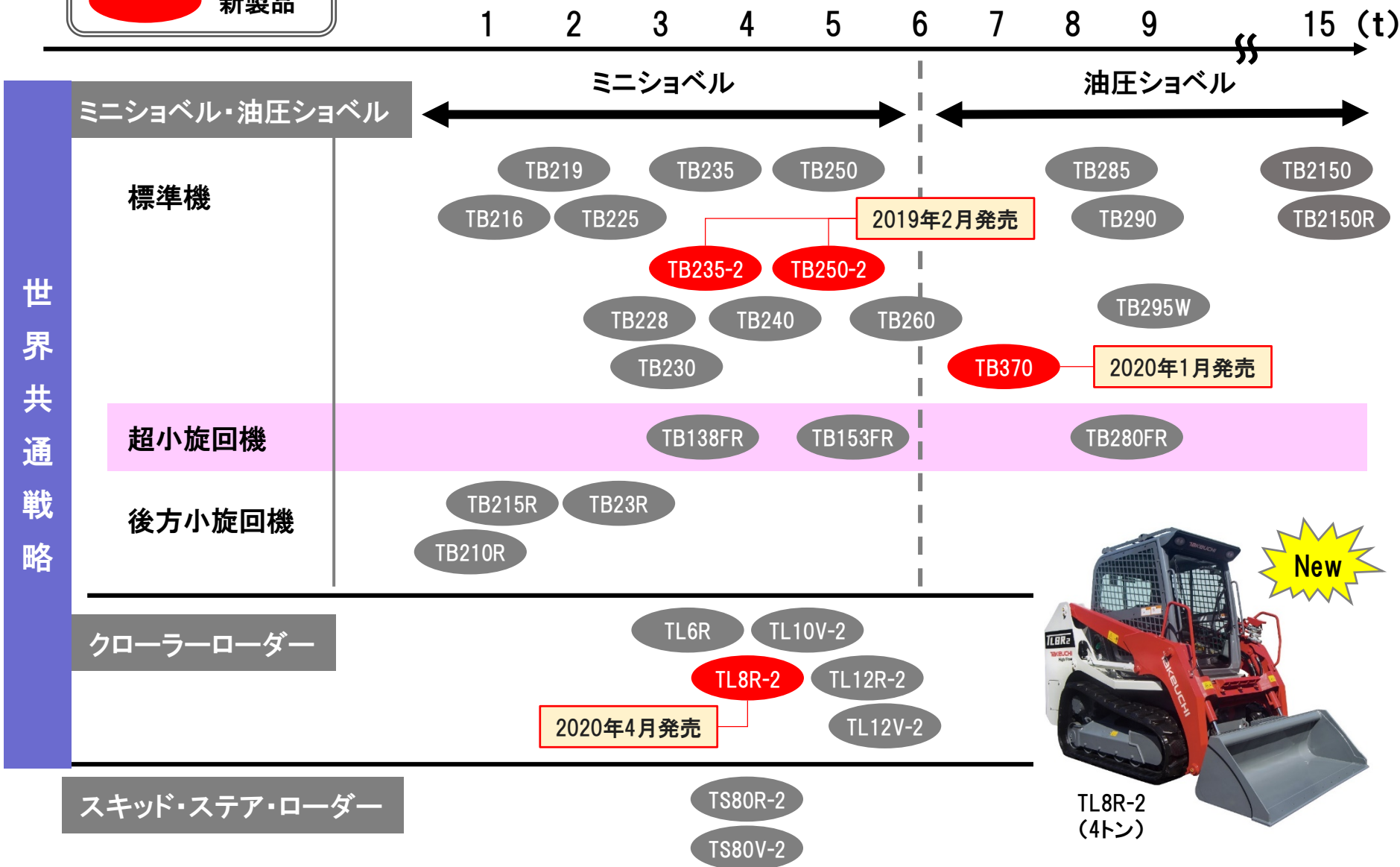


バッテリー式ミニショベル (2021年発売予定)



びんぐし試験棟での屋内性能テスト

新製品



新製品のご紹介 (TL8R-2)

CONEXPO 2020
3月10日~13日



➤ 新機能のクリープ走行、自動変速に関心寄せられる

- ▶ 販売開始 2020年4月
- ▶ 主な特長
 - ① 既存製品『TL8』の後継機種
 - ② 日欧米の最新の排出ガス規制に対応
 - ③ クリープ走行機能と自動変速機能をオプション設定
 - ④ TFM(Takeuchi Fleet Management)システムを搭載



TL8R-2
(4トン)

生産能力の強化（長野県青木村に工場用地の取得を計画）

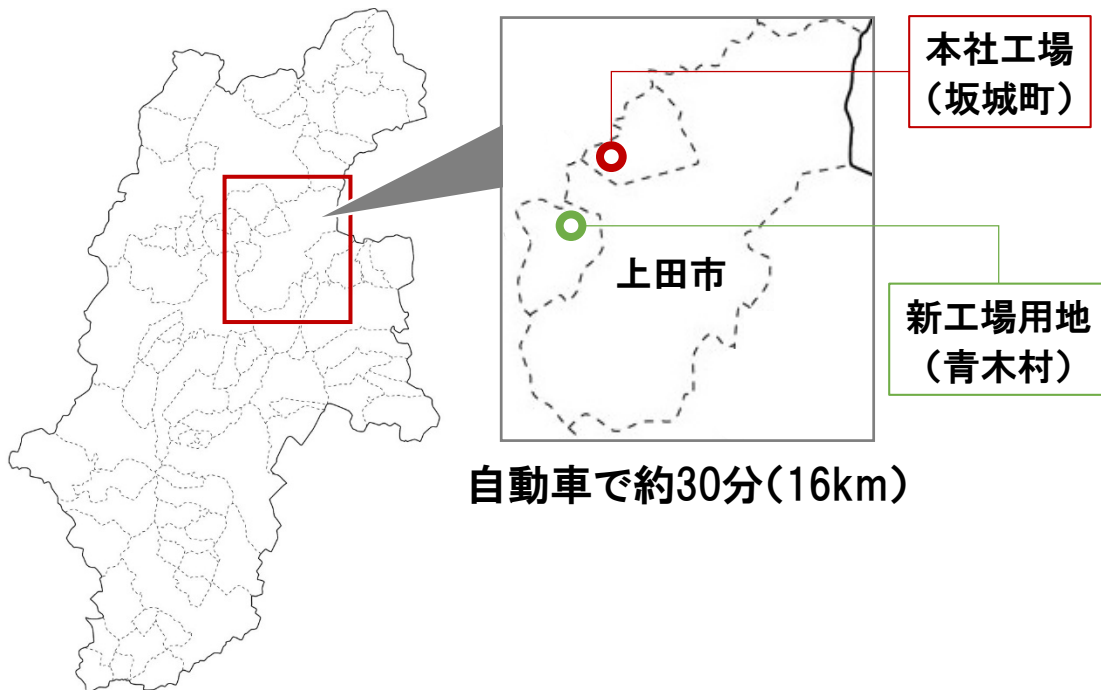
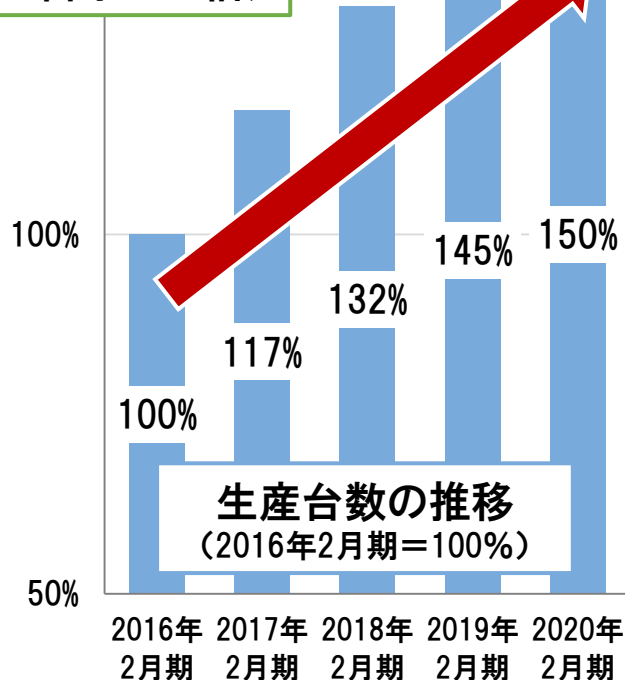
【取得を計画する工場用地の概要】

- ▶ 所在地 長野県青木村 当郷地区
- ▶ 面積 51,869平方メートル（約15,700坪）
- ▶ 取得時期 2021年内
- ▶ 取得価額 未定

現有の本社工場と同等の土地面積

- ▶ 新工場の建物仕様、生産設備等の設備投資計画の詳細は、これから練り上げる。

生産台数は
伸び続けている
(4年間で1.5倍)



11 住み続けられる
まちづくりを



6 安全な水とトイレ
を世界中に



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



当社グループの事業に直結する取り組み

- ✓ 住宅工事、生活インフラ工事、建物改修工事
- ✓ 災害復旧工事
- ✓ 上下水道工事、メンテ工事
- ✓ 汚泥除去、河川整備、公衆衛

13 気候変動に
具体的な対策を



12 つくる責任
つかう責任




7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



メーカーとして果たすべき責任、貢献すべき役割

- ✓ 環境にやさしい製品開発（バッテリー式ミニショベル）
- ✓ 省エネ&再エネ、生産工程の省力化・効率化
- ✓ 調達&廃棄ルートの公開（グリーン調達、フェアトレード）
- ✓ 3R(Reduce、Reuse、Recycle)の推進

8 働きがいも
経済成長も



5 ジェンダー平等を
実現しよう



人権や従業員の働く環境に関する取り組み

- ✓ 働き方改革
- ✓ 健康経営優良法人（ホワイト500、2020年認定取得済）
- ✓ 女性の活躍推進（女性取締役/管理職/従業員）
- ✓ 子育てサポート（くるみんマーク認定取得済み）

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



- ✓ サステナブル経営に対し、ステークホルダーの**共感**を獲得し、共に行動する

理解 分かっている、知っている
 納得 賛同している
 ✓ **共感** 賛同し、共に行動する

お客様、お取引先様
 株主、投資家
 従業員、家族
 地域社会

設備投資計画

本社・第3工場 竣工 (約30億円)

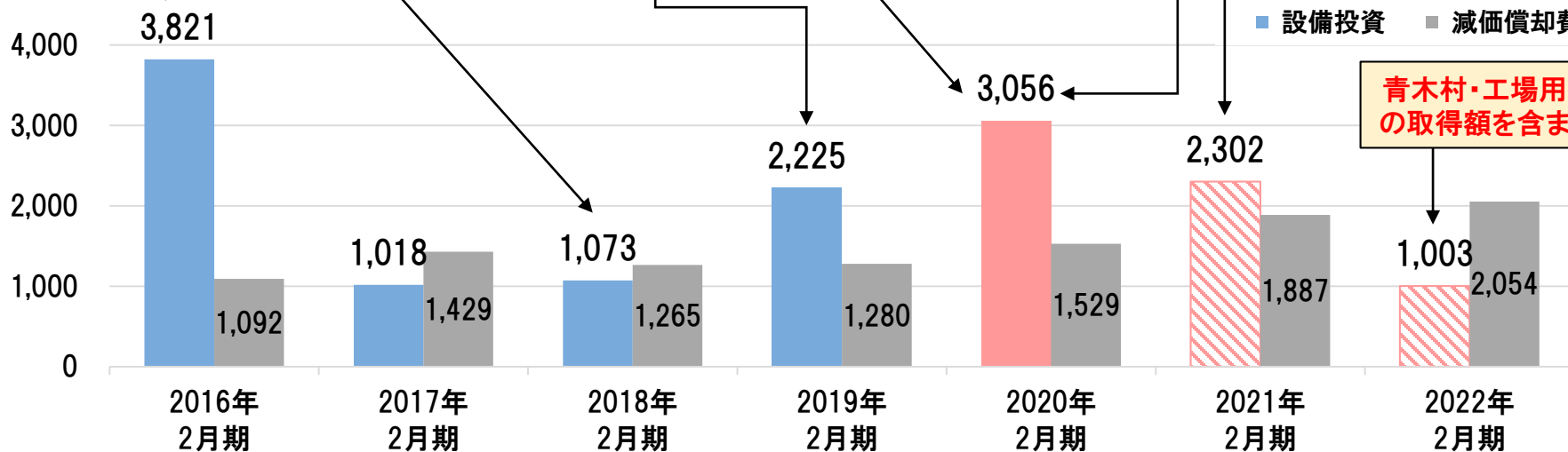
びんぐし試験棟 建設 (約9億円)

Takeuchi US 倉庫増築 (約5.4億円)



- 2021年2月期
- 米国 (Takeuchi US) トレーニングセンター開設 約4.5億円(420万USD)
 - 本社、空調設備入れ替え 約4.1億円

単位:百万円

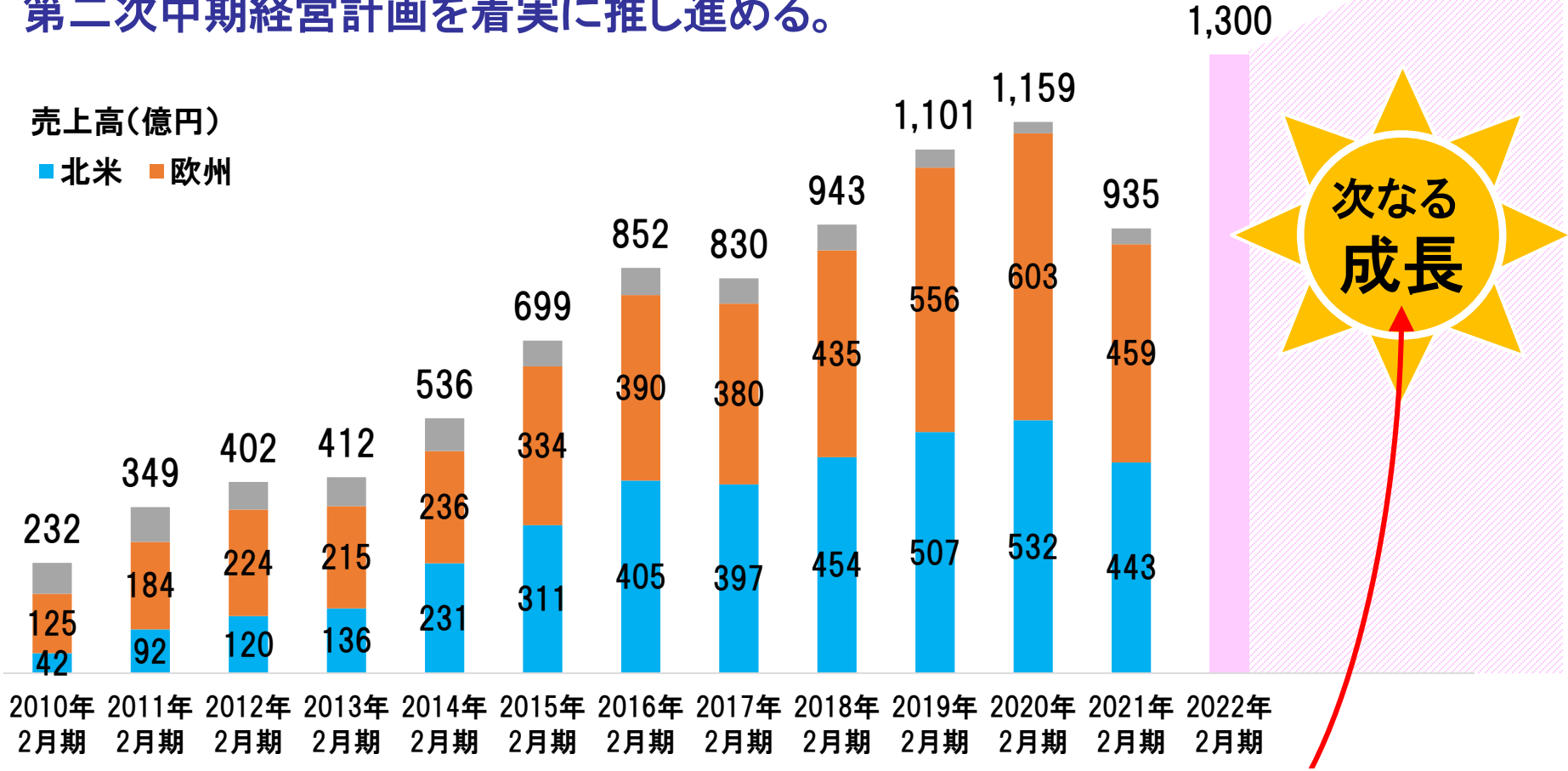


次なる成長へと“新たな扉を開く”

連結業績は、やむなく一時的に後退するものの、
第二次中期経営計画を着実に押し進める。

売上高(億円)

■北米 ■欧州



次なる
成長

9年で5倍

5年で2倍

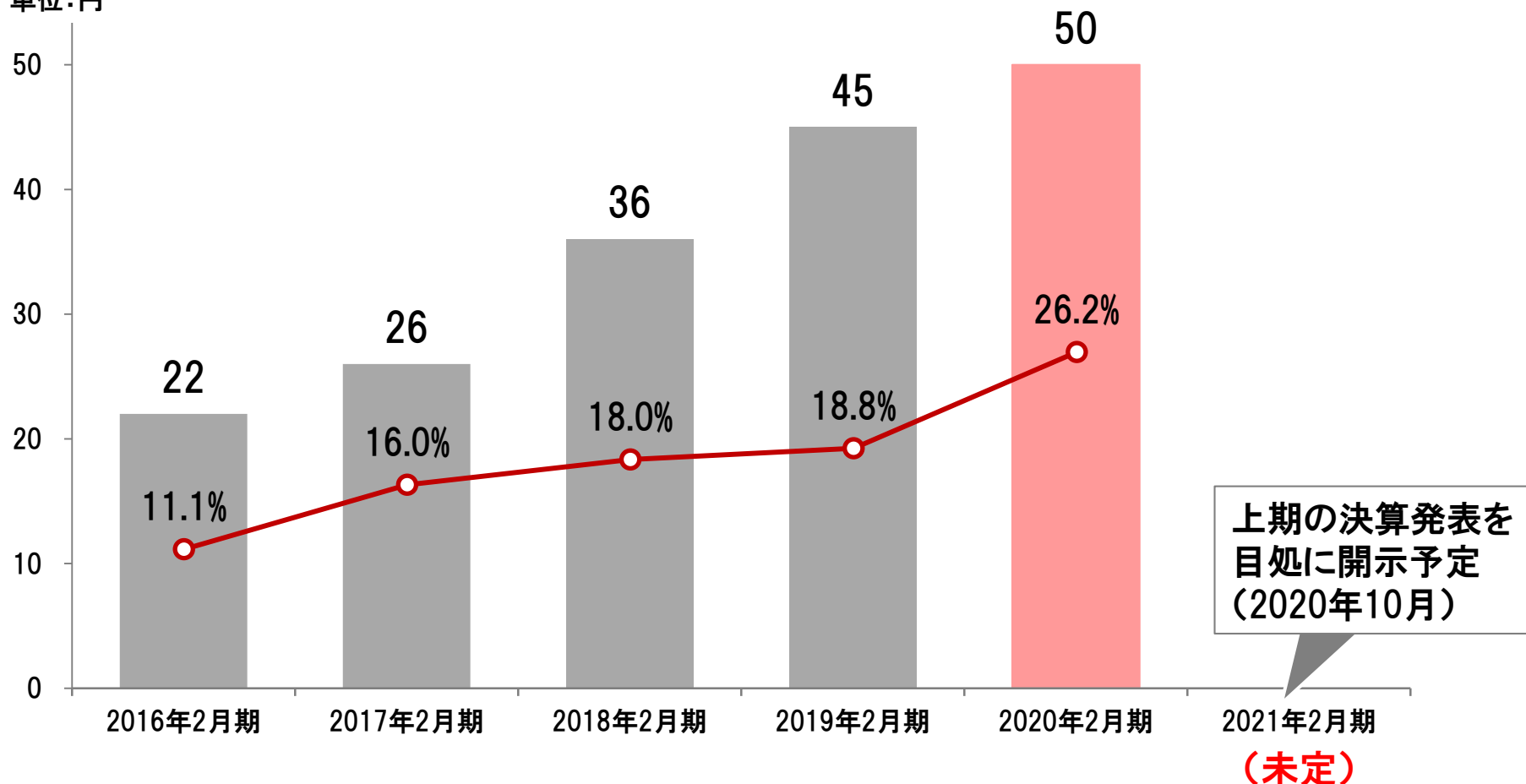
第二次中計

- ▶ 販売力
- ▶ 生産力&調達力
- ▶ 開発力
- ▶ サステナブル経営

配当方針：経営体質の強化並びに今後の事業展開に備えるために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続に努めることを基本方針としております。

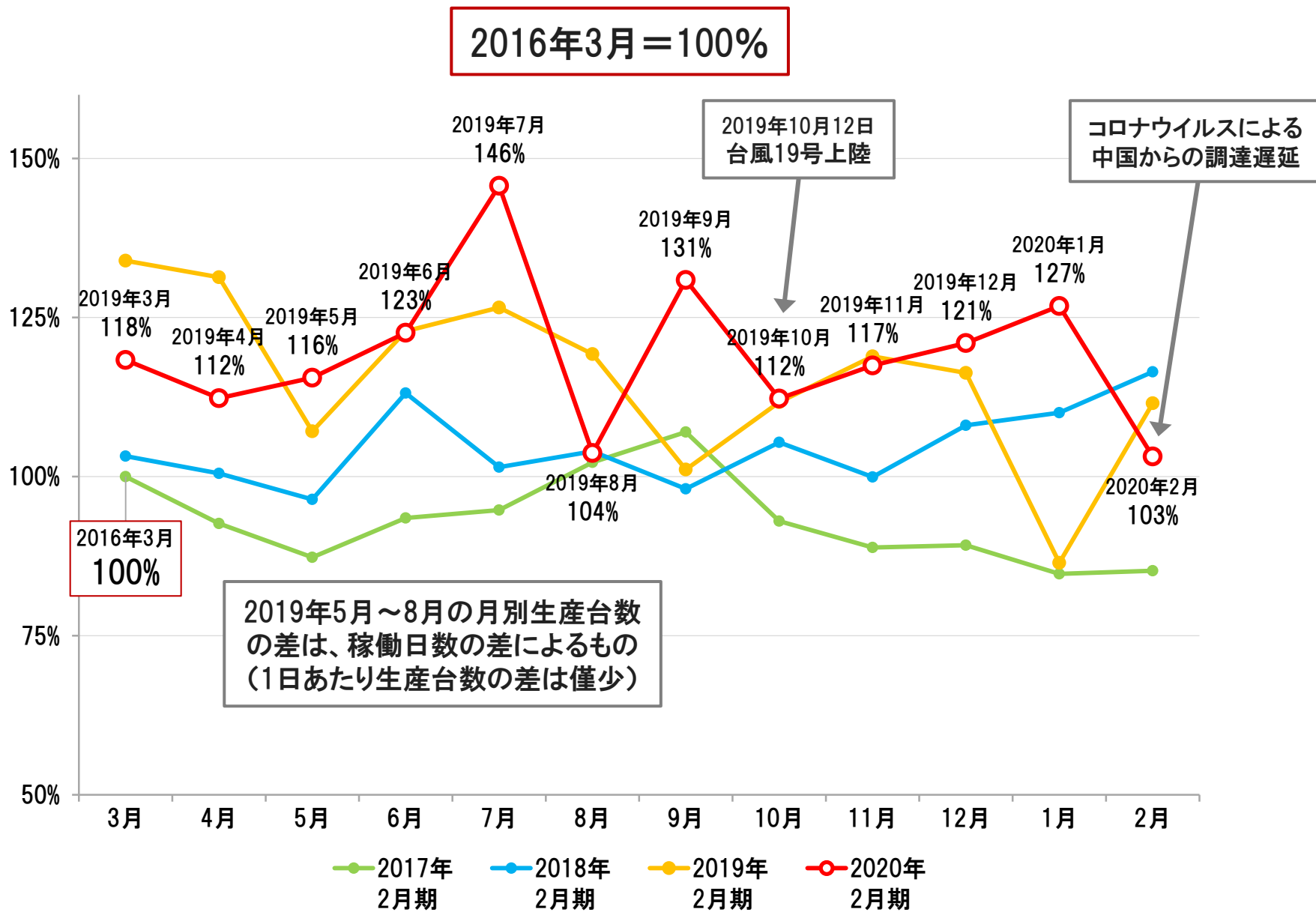
1株当たり配当金、連結配当性向の推移

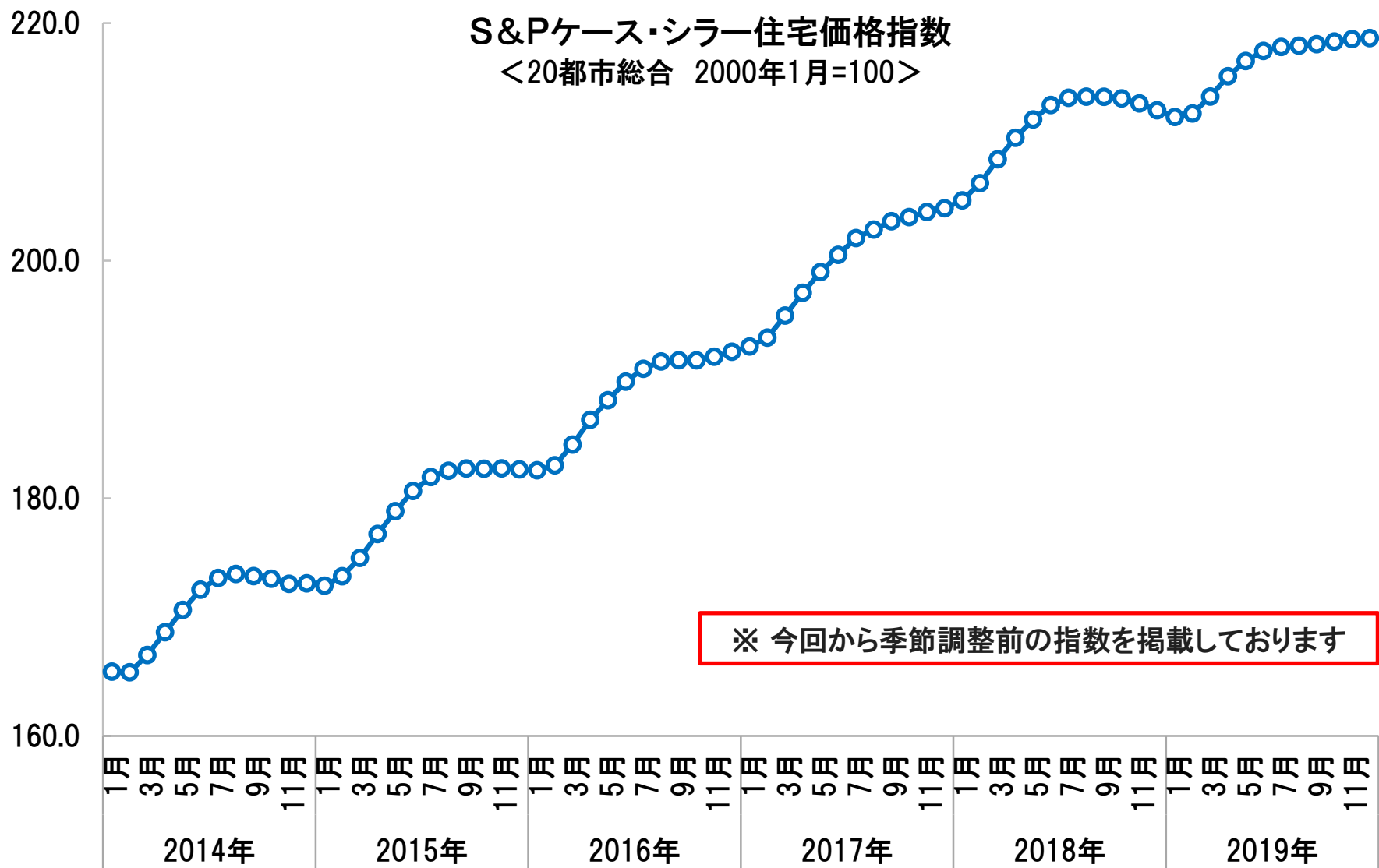
単位：円



- ▶ 2020年2月期・連結業績 実績
- ▶ 2021年2月期・連結業績 予想
- ▶ 第二次中期経営計画の進捗状況
- ▶ **ご参考資料**

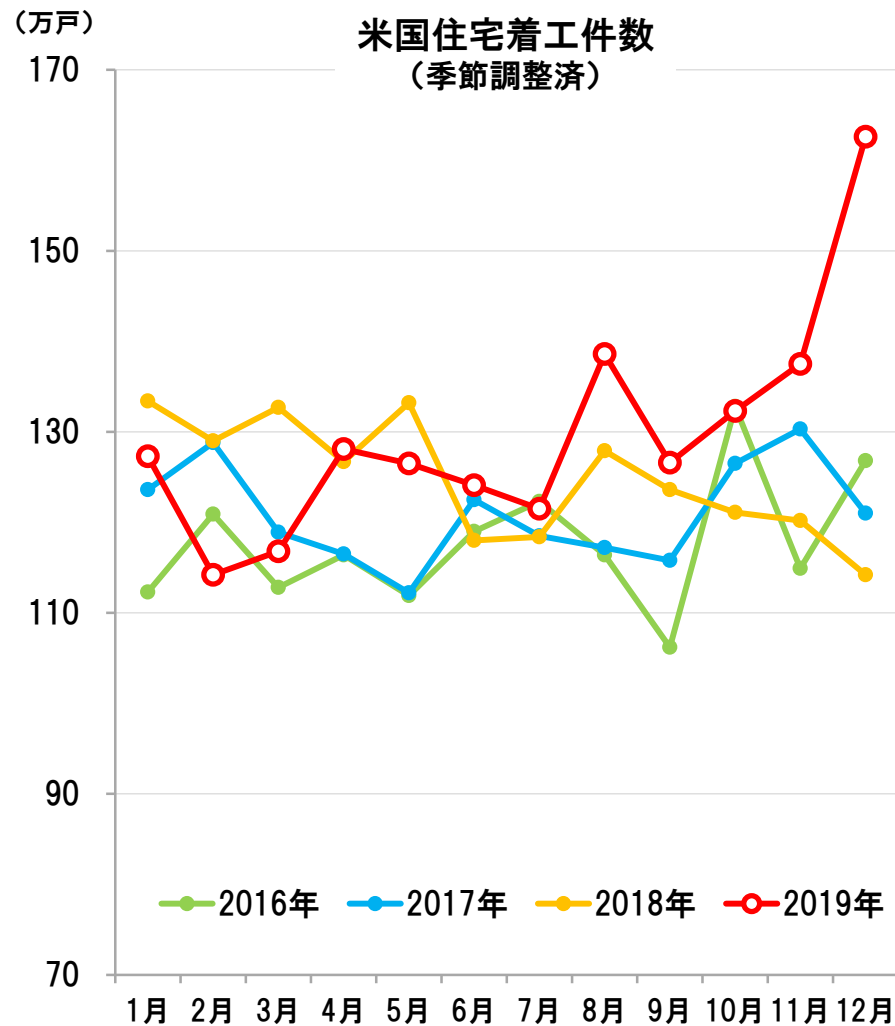
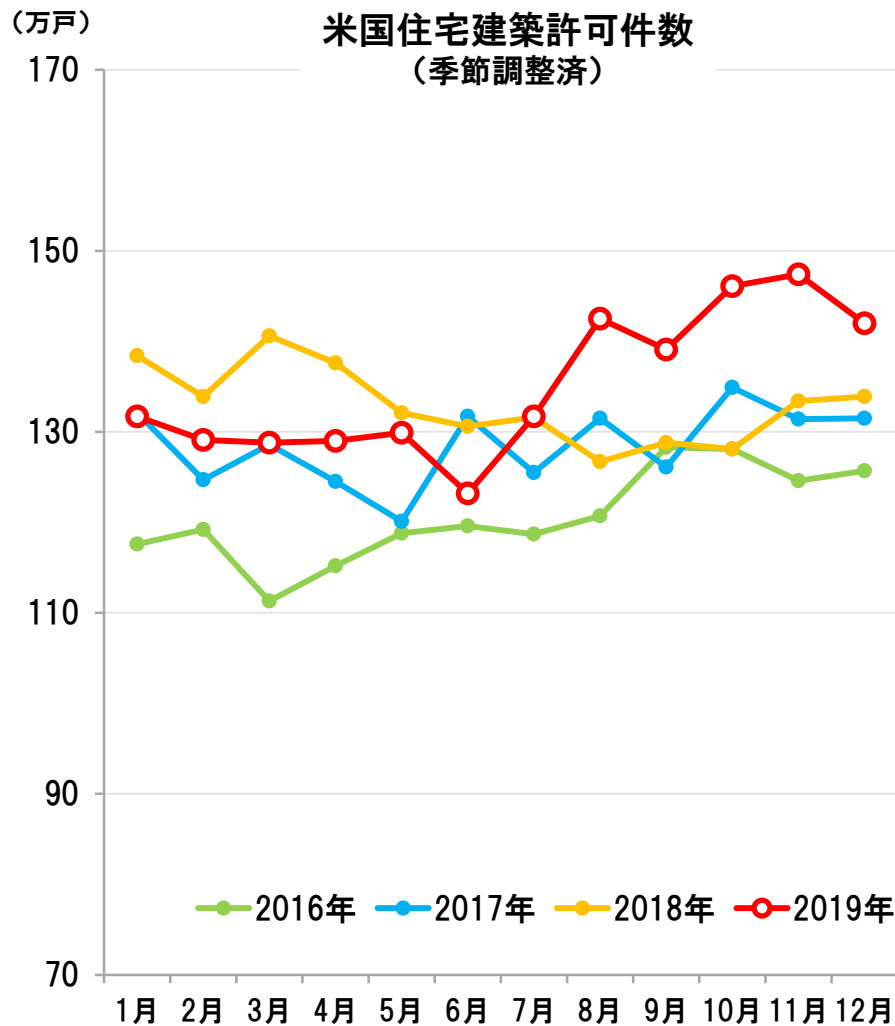
月別生産台数の推移





(出所) S&P

➤ 米国の堅調な雇用・所得環境を背景とした良好な個人消費を踏まえ、住宅需要は**力強さを取り戻し、今後も底堅い**と予測



会社名	株式会社竹内製作所	
英文社名	TAKEUCHI MFG. CO., LTD.	
代表者	代表取締役社長 竹内敏也	
本社所在地	長野県埴科郡坂城町上平205番地	
設立	1963年8月21日	
決算期	2月末	
資本金	3,632百万円 (2020年2月29日現在)	
売上高(連結)	115,913百万円 (2020年2月期)	
従業員数(連結)	833名 (2020年2月29日現在)	
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 6432)	
子会社	米国	TAKEUCHI MFG.(U.S.),LTD. (設立 1979年2月)
	英国	TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD. (設立 1996年10月)
	仏国	TAKEUCHI FRANCE S.A.S. (設立 2000年6月)
	中国	竹内工程機械(青島)有限公司 (設立 2005年4月)

＜主力製品＞

ミニショベル・油圧ショベル

- ✓ 当社が世界初のミニショベルを開発
(1971年)
- ✓ ミニショベル
製品質量が6トン未満のもの
- ✓ 油圧ショベル
製品質量が6トン以上のもの

主な用途

- ✓ 住宅建設の基礎工事
- ✓ 水道管、ガス管等の配管工事
- ✓ 公園や庭に木を植える造園工事
- ✓ 老朽化した建物の解体・修復工事



クローラーローダー

- ✓ 当社が世界初のクローラーローダーを開発(1986年)
- ✓ ミニ/油圧ショベルより移動速度が速く、運搬作業に向く
- ✓ ほとんどが北米需要、北米販売

主な用途

- ✓ ミニショベルで掘削した土砂の運搬
- ✓ 地面の掘削、整地
- ✓ アーム先端のバケット部を交換することで様々な作業が可能



業績推移

単位:百万円	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期(予想)	
	2016年2月期	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期	前年増減額
日本	2,740	2,093	2,427	940	813	1,970	+1,156
北米	40,503	39,657	45,360	50,696	53,222	44,330	△8,892
欧州	39,009	37,988	43,467	55,561	60,313	45,920	△14,393
アジア	894	760	864	1,000	384	120	△264
その他	2,072	2,501	2,222	1,977	1,179	1,160	△19
売上高	85,218	83,000	94,342	110,175	115,913	93,500	△22,413
営業利益	16,222	13,404	14,133	15,411	12,649	8,400	△4,249
経常利益	15,291	11,722	14,033	15,496	12,403	8,450	△3,953
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,708	7,757	9,547	11,391	9,091	6,150	△2,941
1株純利益	198.14円	162.07円	200.20円	238.83円	190.64円	128.97円	△61.67円
1株配当金	22.00円	26.00円	36.00円	45.00円	50.00円	未定	－円
円/米ドル	121.25円	108.30円	111.58円	110.06円	109.21円	108.00円	△1.21円
円/英ポンド	184.99円	145.32円	146.80円	145.91円	139.49円	128.00円	△11.49円
円/ユーロ ※1	133.16円	119.55円	128.67円	129.16円	121.46円	118.00円	△3.46円
円/人民元	19.19円	16.40円	16.63円	16.64円	15.82円	15.50円	△0.32円
純資産	55,043	60,080	68,106	77,180	83,683		
総資産	76,854	82,643	91,422	103,557	108,982		
自己資本比率	71.6%	72.7%	74.5%	74.5%	76.8%		
ROE ※2	19.2%	13.5%	14.9%	15.7%	11.3%		
ROA ※3	21.4%	14.7%	16.1%	15.9%	11.7%		

※1 為替レートは、12ヶ月間の平均レートを表示

※2 ROE(自己資本当期純利益率) = 当期純利益 ÷ 純資産 × 100 (純資産は期首・期末の平均値)

※3 ROA(総資産経常利益率) = 経常利益 ÷ 総資産 × 100 (総資産は ")

お問い合わせ先

株式会社竹内製作所

経営管理部 経営企画課

TEL : 0268-81-1200

FAX : 0268-81-1127

E-mail : ir@takeuchi-mfg.com

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、為替レートの変動等、多分に不確定要素を含んでおります。

そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、業績予想と乖離することがあり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。